

11月16日(木)

## ゆたかなイメージ(創造)の世界と 伝える力を

さつまいもの観察画をきっかけに  
見た事、感じた事を絵で表現する活動を  
毎日の生活の中に組み込んでいます。

昼食を食べて

からだをやすめる準備が出来たら  
さあ、描いてみよう。

表現のテーマは

「常に日常の中にあるもの」

なかまと繰り返し広げる生活の流れの中から一コマを切り取ったり、  
思うままに描いたものを直ぐに保育室内に掲示。自分の絵はもちろんのことなかまの作品も見て  
分かち合い、伝え合います。生活を表現につなげていく「生活画」を目指して。

この活動は美的表現ではなく  
生活(家で、保育園で)に根ざした  
イメージの表現がねらいです。  
単色マーカーでの線描(ドローイング)で  
用紙は画用紙よりも薄手の中性紙を。

毎日描いていくと  
一人ひとりの心のうねりが見えてくる……。  
そんな「絵日記」を綴るイメージの  
活動です。



描き終わったら保育士のもとへ。  
描いた内容を自分の言葉で伝える事も  
とても大切です。  
こうして心を整えて  
お昼寝の時間を迎えます。

5歳児(年長)クラスになると  
使用するサインペンや用紙も  
仕様が異なります。  
その年齢の発達段階に合う  
用具を使用していくことで  
更に表現は繊細で緻密に  
発展していきます。

